

令和4年度（前期）選定 後代検定種雄牛

後代検定種雄牛「知恵幸」は、産肉能力を確認するため、(一社)家畜改良事業団により、現場後代検定調査牛を生産する調整交配が令和4年10月から実施されます。

この現場後代検定において優秀な成績を収め選抜されると、畜産農家の方々へ凍結精液が供給されます。



知恵幸(ちえさち)

○生年月日 令和3年3月16日

○個体識別番号 16327-6488-9

知恵久	[菊知恵	—	美津照
		かみふくひさ	—	安福久
さちみつひさ	[幸紀雄	—	百合茂
		みつひさ2	—	安福久

○本牛の特徴

母「さちみつひさ」は、一卵性双子の枝肉成績において、A-5、枝肉重量502kg、ロース芯面積81cm²、BMSNo.10を記録したほか、同母系からは「光平照」「菊知恵」が輩出されています。

父「知恵久」は、当場で生産された種雄牛で、(一社)家畜改良事業団による現場後代検定成績では、BMSが歴代1位を記録し、当団体のG育種価においても、BMSが第2位(2022年2月時点)となるなど、極めて優秀な脂肪交雑能力をもっています。また、牛肉の食味に関わるMUFA割合、皮下脂肪厚や歩留基準値にも優れています。

このような血統的背景をもつ本牛は、直接検定において発育や資質にも優れており、高い脂肪交雑能力のほか、食味や産肉性の改良にも期待できる後代検定種雄牛です。